

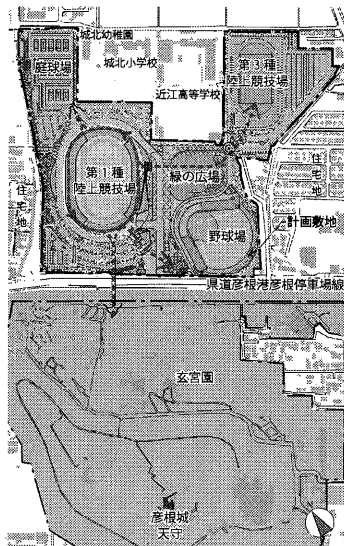
滋賀の歴史文化を継承し、 親しみをもてる交流の架け橋となる競技場

平成36年(2024年)に開催する国体および全国障害者スポーツ大会の主会場(開・閉会式と陸上競技の会場)として、滋賀県立彦根総合運動場を第1種陸上競技場を備えた公園に再整備するため、平成28年9月に(仮称)彦根総合運動公園整備基本設計を策定した。

第1種陸上競技場について、各種設計条件との整合を図りつつ、彦根城の世界遺産登録に向けた取組や防災機能の強化等に配慮しながら、建物の形状や施設構成など、骨格となる建築基本設計を取りまとめた。

第1種陸上競技場の計画概要

トラック・フィールド 整備面積: 約3.9ha トラック: 400m×9レーン (全天候舗装) フィールド: 106m×69m (天然芝、サッカー やラグビー等多目的 的に利用可能)	建物 建築面積: 18,500㎡ 延べ床面積: 21,500㎡ 構造: 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 規模: 5階建て 最高高さ: 24m程度 収容人員: 15,000人以上 メインスタンド: 7,000席程度 (北サイドスタンドに大型映像装置を設置)
敷地 所在地: 滋賀県彦根市松原町3028 面積: 21.8ha	



配置イメージ



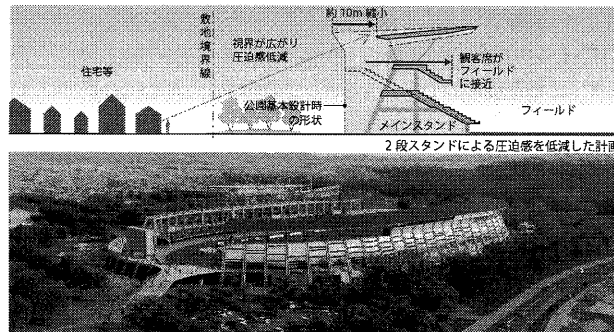
第1種陸上競技場全体イメージ

1. コンパクトな競技場

- ①メインスタンドの観客席を2層構成とすることにより建物の幅を縮小
- ②メインスタンドに架設する屋根の範囲を縮小
- ③観客席を上下2段に分けることにより、客席がフィールドに近づき臨場感の高い観戦が可能
- ④西側住宅地からの距離を離し、樹木を植栽して圧迫感を低減
- ⑤競技場周辺に余裕を生み出し、公園空間を拡大

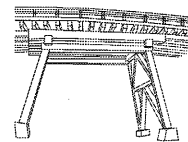


コンパクト



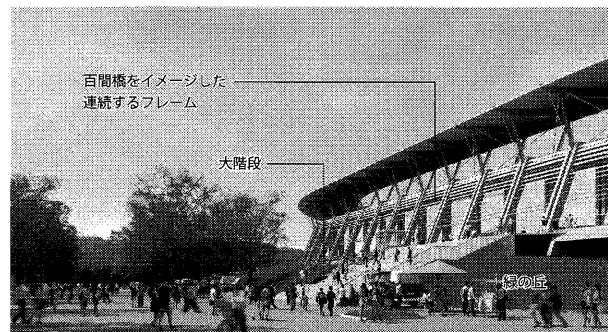
西側住宅地から: 建物のコンパクト化により周囲の緑地面積の確保

2. 歴史、景観に配慮した競技場



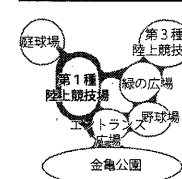
檜(やぐら)

- ①伝統的な真壁造りや下見板張り風のデザインを採用
- ②城下町の景観と調和した、落ち着いた色調を採用
- ③かつての松原内湖にあった百間橋をモチーフにし、連続で楕円形状に構成する柱と梁を採用
- ④内装仕上り材等に県産木材を利用
- ⑤照明を目立たせないよう、屋根先端下部に照明設備を設置(照明柱を設置しない)



エントランス広場から: 公園と第1種陸上競技場をつなぐ「緑の丘」と「大階段」

3. 周囲を自由に回遊できる競技場



つなが

- ①2階レベルに回遊できる歩道空間(スタジアムリング)を設置
- ②4カ所の屋外階段とスロープを設け、スタジアム内外のアクセスを向上
- ③スタジアムリングは公園内の各施設を円滑につなぎ、連絡橋により彦根城等との動線を確保
- ④スタジアムリングにより、各スタンドに段差なく行けるようバリアフリーに配慮



敷地北側から: スタジアムリングを中心に周囲を自由に回遊できる競技場

(仮称) 彦根総合運動公園 第1種陸上競技場建築基本設計の概要

4. 環境負荷の削減を図る競技場

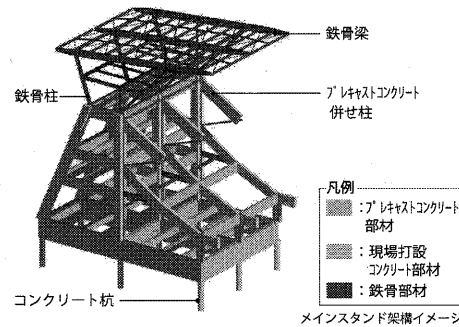
- ①遮光・防音壁により近隣への住環境負荷（光漏れ、音漏れ）を低減
- ②観客席、フィールド用のスピーカーを分散配置することにより、周囲への音漏れを低減
- ③屋根の雨水を集水しフィールドの芝生散水に活用
- ④風の流れを考慮した自然換気を採用
- ⑤競技用照明を含め、すべての照明にLED器具を用い省エネを図る
- ⑥工事残土は緑の丘の盛土に活用し、場外搬出を削減



近隣への住環境に配慮した外壁イメージ

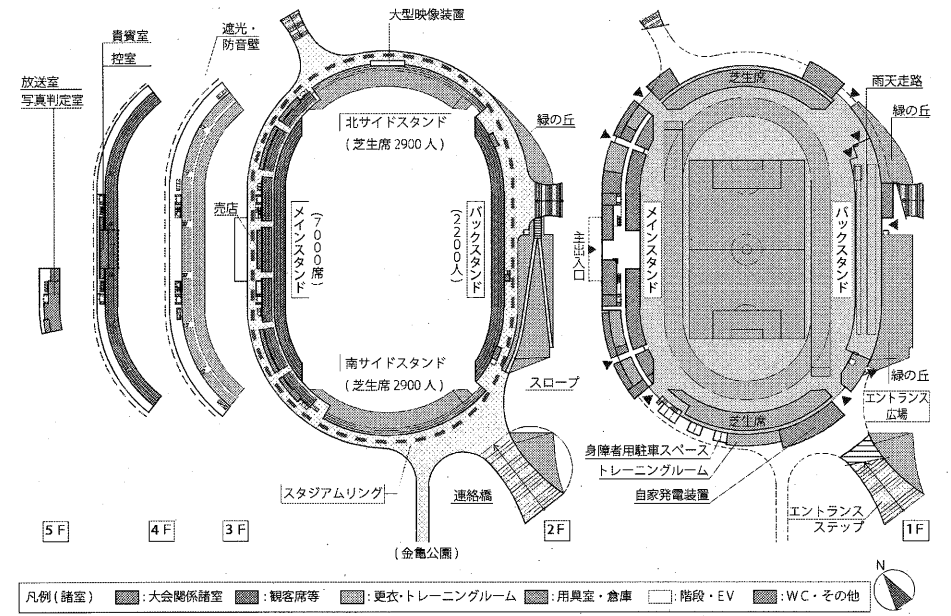
5. 安全で安心な競技場

- ①地震発生時に防災拠点として機能するよう必要な耐震性を確保
- ②杭は安全性とコストバランスを考慮し、コンクリート杭とする
- ③災害時の緊急輸送機能や避難施設としての機能を確保
- ④万が一の災害に備え、自家発電装置を設置
- ⑤フィールドは災害時にヘリポートとして利用可能
- ⑥防災時には雨水をトイレ洗浄水等に活用

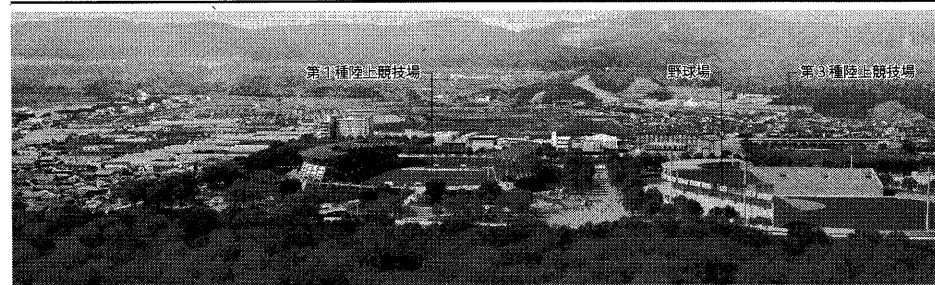


メインスタンド架構イメージ

各階平面・断面・立面イメージ



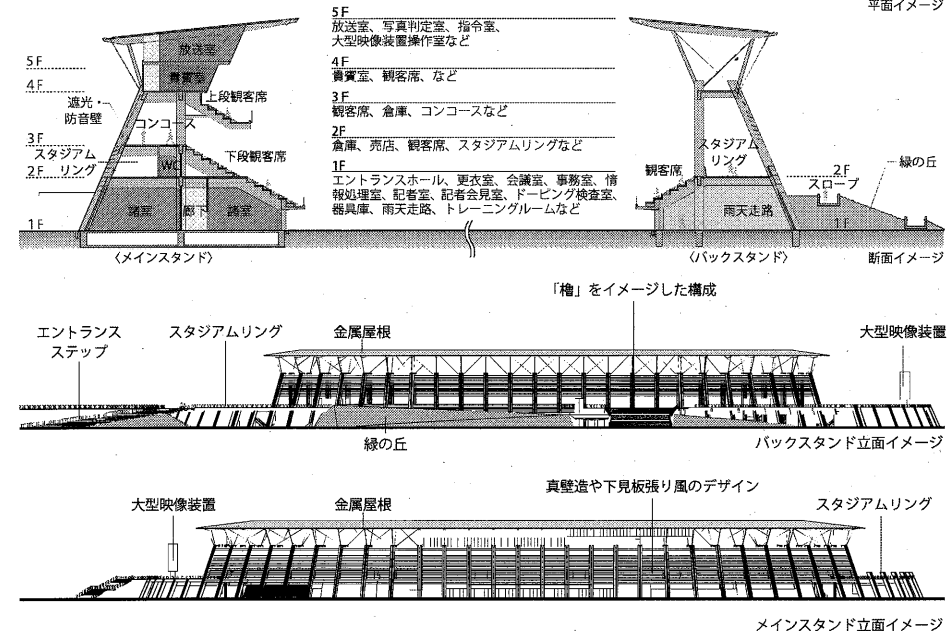
イメージパース



彦根城天守からの眺め：周囲を樹木で囲った景観に調和した競技場

スケジュール

項目 \ 年度	2014年度 (10年前)	2015年度 (9年前)	2016年度 (8年前)	2017年度 (7年前)	2018年度 (6年前)	2019年度 (5年前)	2020年度 (4年前)	2021年度 (3年前)	2022年度 (2年前)	2023年度 (1年前)	2024年度 (開場年)
都市公園設計計画 (基本構想・基本計画)		基本設計	実施設計								
建築施設設計 (第1種陸上競技場)		基本設計	実施設計								
建築施設工事 (第1種陸上競技場)											



これらの図およびイメージ等は基本設計時点のものであり、この後に行う実施設計で変更になる場合がある。